



公益社団法人日本歯科先端技術研究所
中国・四国地区主催講演会

「インプラントの長期安定」 —在宅の現状と在宅を見据えた インプラント治療—

2025年1月26日（日）9：15～11：45

講師：（公社）日本歯科先端技術研究所
会長 柴垣 博一 先生



<略歴>

- （公社）日本歯科先端技術研究所 会長・認定医・指導医
- （公社）日本口腔インプラント学会 専門医・指導医・代議員
- （一社）日本歯科医療管理学会 専務理事・認定医

今やインプラント治療は、欠損補綴の選択肢として確立し、患者のQOL向上に大きく寄与していると言っても過言ではありません。2012年杏林大学のグループが、「デンタル・インプラントがメンタルヘルスおよびQOLに及ぼす変化について」を日本衛生学会誌に発表し、インプラント治療後の口腔と日常生活に対する満足度評価において、若年層より高齢層により心理的な満足度を与え、そして、インプラント補綴後の咀嚼改善や違和感の軽減による満足度とともにQOLの向上が認められたと結論付けています。当医院においてもインプラント治療を希望される多くは高齢者であり、独自に行った術後の患者満足度アンケート調査においても、インプラント治療は高い評価を受けています。

では、具体的に高齢者へのインプラント治療をどう取り組むのか。加齢とともに多薬服用や多くの持病を持つなか、いかに低侵襲手術を行い、生体に優しいインプラント性状であり形状を持ち備えたインプラントを使いこなしていくことが必要になります。ストローマンインプラントを中心に治療を行っていますが、サイトによっては他社のインプラントを使用することでより効果を発揮するケースもあります。サイトに合わせたインプラントの選択や術式の選択が求められると思います。欠損に対する方法論的インプラント治療ではなく、口腔機能を温存させ残存歯を保存し咬合崩壊を進行させないための治療こそがインプラント治療と言えます。25年のインプラント治療から教えられた教訓とインプラントを長期に安定させるための試みについてお話しさせていただきます。

<講演会会場>

山口県歯科医師会館
〒753-0814

山口県山口市吉敷下東一丁目4番1号

<問合せ先>

公益社団法人日本歯科先端技術研究所 事務局
〒105-0014

東京都港区芝1-8-25芝TKビル4F

電話：03-5476-2004 FAX：03-5476-2006

E-Mail：nissenken@dental.email.ne.jp



日先研HP